

生徒の皆さんへ

新型コロナウイルス感染症の広がりにより、臨時休校がさらに5月末まで延長され、学校再開の予定が6月になりました。4月からは約2か月、昨年度3月からは約3か月という、経験のない臨時休校期間が続くこととなります。

生徒の皆さんは、目に見えない新型コロナウイルスの恐怖に加え、先が見えないことに不安を感じていると思います。いつもであれば、お互いに支えあい、お互いに励ましあう学園の仲間とも会えない日々…。とりわけ、中学1年・高校1年の皆さんは、入学式の翌日から臨時休校に入り、入学したという実感すら持てないことと思います。

われわれ教職員も全く同じ思いです。皆さんがいるから学校である、皆さんがいて授業や部活動や学校行事が行われるから学校であるという、当たり前のことをこれほど強く感じたことはありません。

いま医療現場では、感染症の方を救うため医師・看護師・さまざまな医療スタッフの方が懸命の努力を続けています。新薬やワクチンの開発に取り組む関係者の方も多くいます。新型コロナウイルス感染症の広がりを終息させる日が必ず来るはずで、そして、必ず学校再開の日も来ます。

2か月あるいは3か月ぶりの学校再開。仲間と再会し、新しい仲間との出会いがあります。感染症予防の制約があるものの、授業が行われます。改めて学ぶ喜び、学ぶ楽しさをかみしめることでしょうか。高校総体県予選は中止になりましたが、また新たな目標をもって部活動が始まります。中学1年・高校1年の皆さんは、どんな部活動に入部しているでしょうか。

こうした日々が来ることを楽しみにしてください。いままで感じなかったさまざまな感動や気づきがあるだろうと思います。その日のために、今という時間を大切に過ごしてください。今できること、今しかできないこと、今だからできることを考え、有意義な時間を過ごしてくれることを願っています。

皆さんの、今まで以上に素晴らしい笑顔に会える日を楽しみにしています。

令和2年4月28日 校長 小菅 順一